石櫻新聞

発行所 石桜会出版委員会
印刷所 岩手新報社

石櫻新聞創刊号に寄す

岩高校長 佐々木哲郎

今回石桜会出版委員が主体となり月刊石櫻新聞の刊行を見るに至つたことは、誠に欣快感激の至りである。従来年一回発行の会誌「石桜」について、私は何んとなく満ち足らざる感じをもつていたのである。「石桜」発行には相当多額の費用を要し、しかも近年は諸物価高価なので、会員有志の浄財に任せていたら、経営が困難になり残本整理にも苦心する状態であつた。年一回の発行のため自然に記事が古臭くなり、魅力も乏しいので恐らくざつとあちこちを拾い読みするだけで、あとは放棄してしまう位が関の山であつたと思う。それ故、大正十五年本校創立当初に刊行したような月刊紙を発行する方が、記事に新鮮味があり魅力もあつて全紙に目を通すことになれば、新聞の価値効果がはるかに大きいのだから、雑誌の発行もさることながら、寧ろ月刊紙に改めることを久しい間望んでいながら、いろいろの都合でつい今日まで実現できなかつた次第である。然るに旧ろう生徒会なる石桜会が新たに民主的に結成され出版委員が慎重協議の結果、月刊紙の刊行を計画し、いよいよその創刊号を発行するに至つたので、私の年来の希望が漸く実現する訳で、この点衷心欣快の念を禁じ得ないのである。

本紙の発行には、新聞関係者の熱意努力がもとより不可欠の要件であるが、同時に会員全部の協力によつて、健全なる発展の責任を分担しなければならない。しかして記事の内容は常に清新味豊かでしかも興趣津々愛読せずには居られないような又発行日の来るのが待ち切れないような魅力を持たせるように、不断の創意工夫をこらして編集することは肝要であると思う。

終りに石桜新聞は、今後学校と父兄間の密接なる連絡機関にもなり、PTAの会員方も皆読まずに居られないような立派な有用な新聞に育て上げるように留意努力を望みたい。そして石桜会の文化方面や体育方面にもその活動発展に協力貢献し、又将来社会人としての教養の上にもよい影響を及ぼしやがて全校生徒職員父兄会員の愛読紙として成長発達するように、ひとり新聞関係者のみならず、学校生徒職員父兄会員の関心後援を切望して、こゝに一言を寄せて以て祝詞とする。

PTA總會開かる
会長には村井源三氏
全役員留任

二月十日午後二時よりPTA総会が約一〇〇名、他に委任状二六八名、集合の下に本校音楽室において開かれた。当日の議題は二十五年度の役員及び監査員の選挙であつた。先づ役員候補者指名委員長関根豊太郎氏の説明があり、次いで議長選出に移つたが満場一致で関根氏が選出された。関根氏議長席につき、役員選挙に関する件を提出、選挙方法につき意見を求めた。村井氏、会員の投票による選挙の煩を避け詮衡委員会の設置を発言、一致可決し更に村井氏は詮衡委員会各学級より一名あてとする案を提出、その際山中先生より学年から一名あてにしてはどうかと意見具申があり、これが全員賛成により可決し、その委員会には次の七氏が選ばれて校長室において協議した。

詮衡委員 北田ナホ氏 村井精三氏 小田島運三氏 井上幸三氏 小野次郎氏 木村きぬ氏 関根豊太郎氏

校長室において協議中、その休憩時間を利用して、総会では田中先生の次の事に関する説明があつた。学年末考査、暖房燃料、不良化防止、就職、進学、入学等

約一〇分程して詮衡委員会の決議が発表され、万場拍手のうちに左の如く決定された。

会長 村井源三氏
副会長 藤田金蔵氏 山中先生
書記会計 梅木四郎氏 赤石先生 菊池先生

こゝにおいて来年度のPTA役員が最後的に決定したわけである。なお当日決定した会計監査員は次の通りである。

佐々木禎一氏 藤田喜平氏 長沢専次郎氏

次いで会長副会長の就任のあいさつがあつたが、会長の要旨は今までの一年をふりかえつて、しなければならないことは今後にあり、皆様の御援助と御努力によつて、できるかできないかが決まると思います。後副会長の就任挨拶あり、これが終つて三時五分総会が終了した

創刊に寄せる言葉
PTA会長 村井源三

学校新聞の創刊を心から喜びます。前から学校と家庭を密接に結びつける機関が欲しいものだと常に思つて居りましたが、この度先生の指導のもと生徒諸君の活動により、創刊号の運びをみるに至りました事は本当にうれしく思います。

言うまでもなく、学校新聞は普通の新聞とは自然趣きを異にするとは思いますが、新聞は実に現代文明の万華鏡であり、世界政界の縮図であり、時代思想の交流機関であります。斯く新聞の力は大きく、それ故その論調する所主旨をよく考え、学校と父兄を結びつける機関として学校生活の活動状況、生徒お互の反省機関等として、善良なる社会構成のためにあくまでも中正なる世論をのせて頂き度いと思います。そして学校新聞の本分を達成し、併せて岩中岩高に籍を置くもの、一人々々の生活の向上に資する様に切望してやみません。

簡単ではありますが以上感じましたことを述べ、創刊に寄り御祝いの言葉にかえます。

論説 自己教育

[illegible]

とどうも飛躍のない羽のない自己否定が多いようである。自信と言うものをうぬぼれと解釈するような頭の悪い考えを持つ人があるようである。自信と誇り、またそれだけ当為の努力がなくては、学業的に本校の門前に、プラトンのあの規定を下げることはできない。自己が真と認めるものは、他人が真と認めないといへども真であると、カントがいつている。なんじなし得るが故になし得る、自覚があるならばいかなる教師であろうと自分ではなすべきである。彼らるべきでない。それだけの責任があるのである。

スタンダールの「人間が生がいに最初に習うのは父と教師である」といつている。これにも意味があろう。自己がなし得る限定までやり限定以外は教師である。ここに相補性がある。=これは湯川博士の量子力学の概念から来るものであるが、矛盾人宗の弁証法的統一のことである。湯川博士の説明では「同一の対象について、ある一定の実験によつて得られる知識がこの実験と互いに邪魔し合うような実験によつて知識と相補う一」いずれこうした定義だが、我々は自己教育と、学校教育間における課題を当為の相補性によつて期すべきである。これから我々の活動は世界がステージである。科学とともに進むのである。

創刊号の論説として、自己教育についての意義を強く主張するのである。(委員長)

今春から五日制実施か

今春四月から小中学校でも五日制が実施されるが本校でも対外的関係から各委員会より三名をもつて五日制準備委員会を組織し五日制を実施している男女高校の実態調査を行つた、然しまだ石桜会や職員会議等を開いて討議しておらず結果は出ていないがおそらく本校においても今春からは五日制が実施されると思う。五日制準備委員会及び調査対象は左の通り

白梅校舎商業部=熊谷武 姉帯弘 川村洋一 佐藤良介 千葉雅史 田村寿 高松高、市立高女=村[illegible] 遠藤益夫 佐藤晧司 村山武 五日市三郎 上田校舎、岩女高=佐[illegible] 手塚 藤原和夫 円子弘 箱崎道朗 水沢高校=宮手盛 川[illegible] 姉帯弘 佐藤良介

新聞連盟

二月九日四時より岩手新報社会議室において、市内各高校の新聞関係者の会合が開かれ、[illegible]松高、仕商高、岩女高合計十二名出席し、新報社側から藤村編集局長氏が出席した。討議内容次の通り

○市内高校新聞連盟、岩手新報社共催「学生新聞コンクール」開催に関する件。

市内高校新聞連盟機関紙発行に関する件。

縣私学連発足

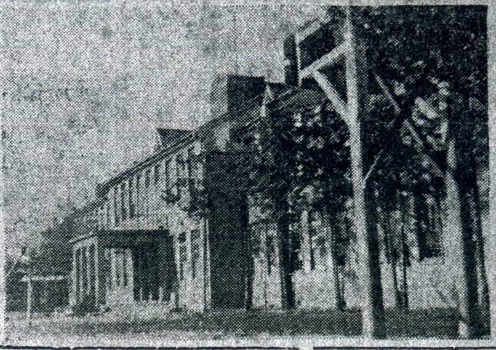
三月十五日から施行される私立学校法に対処するため、このほど岩手県私学連合会が誕生した。これは従来の私立小、中、高等学校協会(会長は本校校長)と、最近発足した幼稚園協会の合流になるもので、私学として設置される岩手県私学の推進母体なるもので常任理事には遠藤先生(本校関係の分のみ)が就任された。なお事務所は本校に置かれるはず。

小原先生離任

小原先生は東北大学工学部受験のため本校の教べんを離れ一月三十日離任式を行つた

本間先生の近況

本間先生は去年四月一日から胸部疾患のため静養中であるが快方に向い本年五月から再び授業するとのこと、現在は日赤に入院中



初の石櫻会総会開かる

二月二十日石桜会が出来てから第一回の総会を講堂において行つた。

宮手総君が司会者となり、村松由高君の開会の辞に続き小野寺会長のあいさつがあり、以下五委員会の委員長が報告を行い、質疑応答があつて約一時間程で終了した。

一般に抽象的であつたが、石桜会及び出版委員会共同による市内高校学生懇談会と、出版委員会で企画し着々進行中の「石桜新聞」発刊についての報告が大きなものであつた。なお総会で行つた会長及び各委員会長の報告の要約掲げる

小野寺会長 五日制準備委員会を組織して各高校の実体を調査した、また出版委員会と共同で市内高校学生懇談会をやつた

遠藤生活委員長 生活といつても範囲が広い、今販売だけしかやつていないが、これから下級生諸君は大いにがん張つてもらいたい

小川学習委員長 学問は自力本願だから皆さん自身の自覚にまつより外にありません

佐藤出版委員長 市内高校学生懇談会をやつた、皆さんに期待されている石桜新聞は今月末出来ます

姉帯文化委員長 委員会が組織されてから何もやつていませんが美術部の発表展や予餞会の演劇部の発表などありました

名久井体育委員長 本年度はラグビー、体操、庭球、ろう球などが相当よい成績を収めましたが下級生諸君は来年度はがん張つて下さい

あんた方へ

合博見

編集者より、今度学校新聞を出版するので何か先輩として書けとの事、未だ蛍光の歌声に送られて三年経るや経ずの私、先輩の名に値いしないだろう、と一応お断りしたのですが、在学当時(昭和二十二年ころ)石櫻新聞(発刊当時は校内新聞の名)を出していた故と攻められると断り切れず、不才を省り見ず恥をかく始末とはなつたのです、思えば終戦後の混乱の中で他校にさきがけそれが如何にガリ刷りのささやかなものであり新聞の名に値いしないものであつたとはいいながら、新聞という形式で出すという事は私達には始めての試みだけに、現今以上の精神的な、経済的な困難を伴つておつた事は事実でした。

さて「文一」が「あや」であつた時代はもう過去のものとなりつつあります。当然「文」は人間であるといい得る時代なのです。そういう意味で人間と人間の同感の中で良き伴りよとして、この新聞をお互の友情の表象として遥かに慈しみ育ててほしいし、行こうではありませんか。

卒業してからは続いた様子も見えず、何か一抹のさびしさを感じていた矢先だけに、新聞発刊の報は私達には異常な程の強い喜びの衝動を与えました。

嬉しさと懐しさの交錯の中で、当時のいわゆる新聞を読返しています。

末尾ながら石桜新聞の発展と進歩を心から祈念します(卒業生)

螢の光窓の雪
第二回卒業式

岩高第二回卒業証書授与式は三月五日本校講堂において厳粛に挙行された。当日は早春の空あく迄も晴れ渡り、伸びゆく若人の門出の日としては、絶佳の陽光であつた。新卒業生一二七名を送る在校生の歌声は、新しい出発の喜びと別離の悲しみとを含めた喜悲の情溢るゝひびきを秘めていた。

終つて卒業生の謝恩会が合同教室で開催され、総代小野寺由也君の手から卒業記念品として幻燈機一台が校長の手に渡された。その後わが子の恩師に対する父兄の謝辞と、卒業を祝う教師の言葉は早春の夕闇におそくまで漂つていた

学校日誌抄

昭和二四年四月
八日 始業式 学級編成
九日 入学式
一一日 学級委員選出 高橋浩先生離任式 竹掛先生就任式
一八日 水原先生離任式 宮川、小原先生就任式
二七日 石桜会予算会議

五月
一日 石櫻会役員任命
六日 県私立学校協会会議
一六日 和田先生就任式
一八日 配給部創設
二六日 映画観覧
二七日 絵画展(おいて松園)
三〇日 開校記念式 芸術祭(おいて公会堂)

六月
二四日―二九日 前期中間考査

七月
七日 H・R役員の選挙
一一日 ターナー女史講演会
一五日―一六日 校内討論会
二一日 夏季休暇に入る

八月
二二日 高校講習開始
二五日 中学講習開始
二九日 授業開始

九月
一四日 映画観覧
二〇日―二七日 前期末考査

一〇月
五日 音楽講習
一六日 運動会
一九日―二一日 防火訓練

一一月
二日 校内弁論大会
九日―一二日 校内排球大会
一四日 細野先生離任式
二八日 後期中間考査に入る

一二月
一日―三日 市内高美連絵画展
三日 考査終る
五日 高三講習開始

一月
二三日 始業式

二月
五日 予餞会
十日 PTA総会
一七日 卒業試験開始

セザンヌについてのエピソード

佐藤祐司

リラダンがユダヤ人を擁護するような文章を書いたところ、ユダヤ人が彼の居宅を尋ねた。するとリラダンは十字軍からの古い家柄にある家重代のマントを着て現れ厳かに手でとびらを指し「去れ」と言つた。

こんなことをある新聞に今日出海氏が書いていた。このようなエピソードは彼の小説を見ても凡そ察しがつくように彼の生活そのものもすこぶるあいまい模糊としているので万更嘘でもなさそうだという気を起させる。今氏はリラダンについてそんな嘘のようなエピソードを作つてみたい、などと書いていた。ところが、今氏がリラダンについて出鱈目でも良いからエピソードを作つてみたいと思つているように私もセザンヌについてそんな事を思つている。もち論リラダン、セザンヌ共に一九世紀の人であるから伝記などはほとんど正確に近いといえよう。リラダンは一八八九年に死んでいるし、セザンヌは一九〇六年に死んでいるから。然し前者の場合、今氏が思うように嘘でもまことでもいい位なエピソードが作れそうに見えるのは多分にあるが、後者には前者程作り得る可能性が甚だ薄い。

けれど私はセザンヌについて何か罪のない（女などの関係のない）エピソードを作つて楽しんでいたいような気持になつてしようがない。ベルナアルの「回想のセザンヌ」に斯ういうのがある。（ほゝを省いて訳文を掲せる）

「一タバルザックの「知られざる傑作」と其の主人公フレンホーヘルの話が出た時、突然翁は立上り前に進んで默つたまゝ人さし指で己れの胸をたゝいて見せた。その容子は小説の人物そのまゝを見せられる心地がした。翁より先に一先駆者があつた、そして翁の心を予言した。」

「知られざる傑作」のフレンホーヘルの有様がはつきりと現はれてくるような気もするし、セザンヌの有様もまた見えてくるような気がする。自画像などに見られる頑固親父（なんて親しみある言葉だろう）が、体を振はせている有様がなんとなく見えて来て私をひそかにほゝ笑ませる。

ベルナアルのや、ヴォラアル、ギヤスケ其の他の著書によるとまだまだ多くあつて結構私を楽しませてくれる。けれど私は何か出鱈目を作つてみたい。私がもし「セザンヌ論」を書いたとしても、象のしつぽにかぢりついたアリ程にも痛さをセザンヌは感じまいし、ましてエピソードなのであるからセザンヌの損害には全然関係しまい。

過日の夜十時昼間寸見したヴォラアルの「画商の想い出」を買いたくなり、古本屋へ歴史の本を強引に三百円で売り、手持の三百円と合せて金を整え勇躍本屋へとんでいつた。然し何しろ夜遅いので古本屋ならばともかくしまつており、一軒目は失敗し二軒目を漸くたゝき起し手に入れた。表紙は青い地にデマフイのペン画になるあの有名な果樹園の画である。そして新刊のインクのにをい。ぶ厚い本の触感この本にはもつと私の欲つしている様なエピソードの種々が書かれているであろう。私は楽しい夢想に胸をおどらせたのだつた。

何れ学校の忙しい仕事から逃れる事が早く出来たなら、四畳半の暗い私の部屋でエピソードを作つてみよう。そして親しい友のRに見せ、Rと共ににやにやしながら焼芋でも食いつゝ絵画論でも戦かわせようと思う。

作文　秋

石井正昭

雷の音も過ぎ去り、きびしい残暑もいくぶんやわらぎ、秋空高く稲こきの音もせわしく聞える季節となつた。朝夕の気温は寒冷となり、樹上の柿は赤く、甘く実り、小鳥のさえずる楽しい宿木となつた。

夕日も西山の岩手山にいだかれ夕もやのせまる秋の野に私は一人で出た。さみしい秋風につき残りの木の葉も、白菊の花も散つてしまつた。

夕刻までたわむれ遊んでいた赤とんぼの群も、古巣を求めて渡つて来たかりと共にいづこかへ立去つた。……今、大きな牛が、かやの穂をたくさん積んだ車を引いて行つた。牛の前には強くたくましい男がのろのろ引いて行つた。私はただ無言で頭をさげて通りすぎた。……家路の空には晩秋の淡いオリオンが輝いていた。私は松虫の声にさそわれて家路についた。どこか遠くでもずの声がさみしくふるえ響かしている。

津田博士にきく
「過去を捨て去るな」

近々岩手県を去られるという津田左右吉博士を本紙記者県立図書館に訪問して講演を数分前に控えてお忙しい先生から次のようなお話をお聞きした。

◇岩手の学生に望むこと

私は岩手の学生と直接に会つて話をしないから君等がどんなことを考えているか分らないが、総ての人生の事実というものは過去を受けついで新しいものが作られる。だから総て過去を捨て去るということは間違つている。現在この風潮が盛んになつていることは悲しむべきことである。もち論人間のすることだから過去に誤りがある然し繰りかえしていうが現在の事実というものは作られているのだ。例えば洋学が盛んになつたのは蘭学のお蔭だし蘭学の盛んになつたのは高野長英のお蔭だ。然しその長英は医者だつたからこそ蘭学を学んだということになる。

君らは岩手の歴史は長英を始め田中館愛橘、新渡辺稲造翁の偉人諸先生によつて作られている事を知つているだろう。諸君はこれらの過去を忘れないで新らしい岩手を作るべきだ。何事にも過去の事実というものがあるがこの過去の事実を無暗に排してはならない。

◇神話について

日本の神話を神話というのは一寸不適当である。がこれをそのまゝ歴史的事実とすることは間違である。然しギリシヤ神話が歴史的事実を表わしているように日本の神話も同様に上代の思想史的事実を表わしているものと言える。例えばこれらの神話によつて古代の日本が皇室を中心として統一されていることを知ることができる。今の教科書は考古学を主としているようであるが考古学上の事実はその当時の生活状態を表わし神話上の事実は思想上の事実をなすからこの二つは性質が異るのだから前者のみを取り後者を忘れるならば完全な歴史とはいえない。

◇方言について

方言は言葉の違いと発音のちがい即ちなまりのちがいとがあるが、言葉のちがいはラジオその他の手段によつて自然にきよう正できるものである。またこの意味の方言は地方の性質を表わしているから歴史的に価値のあるものであるか発音のちがいはきよう正せねばならないと思う。

社会科十九單元の体系

寄稿　遠藤貫中

自学自習が唱えられる今日、生徒がある單元を学習するに当りその單元の有する全体系は如何なるものでありまた個々の事実がこの全体系の如何なるところに位置を有するかを知ることが最も肝要なことである。従つてこの体系を把握することによつて、その單元に対する知識、態度、技能等の問題も解決され学習活動も円滑に行われることになる。以上の理由よりして生徒の学習の指針となることを望み以下十九單元（生産と流通）のシステムを述べてみたい。本單元は経済原論にも相当するものであり理論的にも非常に困難な多くの問題を含むものであるがまづ第一の問題として分業をとり上げるのが便利である。分業については農、工、商、林業等の如き社会的分業と時計製造の場合の如く同一作業における作業分業とが区別されるのである。有名なスミスのピン製造の例は後者における分業を指すのである。また分業と協業の関係、分業の利益と不利益、分業と国際貿易、分業と市場の相互関係等の研究テーマが生ずるであろう。

第二、社会的分業は如何なる企業組織のもとに生産を行うかが第一のあとをうけて問われなければならない。これに答えるものは企業形態であり、株式、株式合資、合名、合資、有限会社はあげられるのである。この論においては各会社の社員の責任、出資資本家と機能資本家の区別、特に株式会社の機関、株券の作用等が研究の対象となつて来るのである。

第三、分業と交換を特徴とする現代の経済組織において、後述する如き過程において生産せられる生産物の交換の場として市場が考えられ交換と附随して当然生ずるのは価格の問題だ。需要供給説として考察されまた貨幣の職能等にも注視しなければならないであろう。

第四、前述せる企業形態のあとをうけて、生産に必要な要素として労働、自然、資本が考えられなければならない。この場合一応マーシャルの述べし如く生産の四要素についても研究する必要があるこれが二十一單元を学習する場合理解を助けるであろう。実に資本とはマニーであるという先入観にとらわれることなく、流動資本と固定資本の区別を知ることが後段における論理を明確にするであろう。かくて生産の条件が考察された後企業家によつてこの三つの要素が適正に結合され財が生産されるのであるがこの場合、労働者に支払う賃銀等は金融機関より借入れるものと仮定することが論を單純化し理解を助けるであろう。

第五、国民経済全体を考察の対象とする場合、生産要素の結合により種々の財が（日用品たる消費財と機械設備の如き生産財に区別される）生産されるのであるがこの生産過程において原材料（自然）の消費分が生産物の中から次の生産のために控除されなければならない。また機械設備の消耗分が補充のため同様控除されなければならないのである。もち論反対給付として貨幣は逆の方向に流れ後述する所得を形成するのである。こゝに再生産の問題があり消耗分以上に資本が補填された場合は拡大再生産（現下日本の課題）となり、それ以下の場合は縮小再生産（終戦直前）となり同等のときは單純再生産（理論的）となるのである。他方、生産に従事せる労働者には金融機関より借入れた資本をもつて賃銀は支払われているのである。従つて金融機関の代表的なものとして普通銀行が検討され更に特殊銀行である日本銀行の金融操作として、金利政策、公開市場政策は金融面よりのインフレ対策として取上げらるべきである。

第六、生産の要素としての労働自然（代表的なものとして土地）及資本に対して夫々賃銀、地代及利潤が与えられ労働者、地主、及資本家に帰属するのである。これを所得といゝこの所得中の一部は税金となり国庫に、また利潤の一部は産業資本家より金融資本家に利子として支払われ金融資本家の所得を形成するのである。従つて利子は利潤の一部と見ることはできる。これ等の所得を以て前述せる生産物は購入され残余は貯蓄となるのである。この場合もまた賃銀学説、利潤の発生原因、地代学説等が検討さるべきである。いま年々同じ数量が生産されそれが過不足なく消費される場合を單純再生産の想定のもとに考察するならばそこに我々は抽象的であるが、厳密な経済循環の姿を見出すであろう。

第七、前述せる第二の問題に関連するが最後に日本資本主義の構造分析に目を向けなければならない。資本主義の特質の一つとしての利潤追求は自由競争を刺げきしこゝに同種産業間において独占形態としてカルテル・トラストが結成され更に株式の作用を中心として異種産業間にコンチエルンを形成し支配と被支配の関係を生じ独占禁止法によつて終戦後解体された事情を研究すべきである。かくして自ら民主々義と経済の関係が課題となるのである。以上アウトラインを述べたのであるが斯様な体系の中から実態研究とか経済生活改善の態度とか習慣が生ずるものと思う。

詩苑

雪の高原

安倍彰一

真綿のような雪のじゆうたん
おばけのよのな樹氷
それはさながら白銀の世界と言えよう
朝の日光がきらと、まぶしく
高原を照らす
二本の糸が高原の中を引いている
スキーの跡らしい
遠く高原の朝の空気を通して
小さく白い山々がきらきらと
銀色になつて見える
犬の足跡があちこちに
ちらばつているように
足跡もだんだんきえてゆくように　雪がふつている
向うの山も白くなつて見えない
まるで白い銀界に入つたように
静かで何の音もしない雪の降る
どこかの家で時計の音がした。

夜の雪

栗栖保之助

冬の夜　小さい雪が
電燈で黄色に光つて見える
こたつにあたつて　静かに
夜の外を見ていた
かぎりなく降つてくる

冬の夜に

籠谷実

啓子があんなに悲しんでゐるのに
おまえは
なぜ行つて慰めようともしない
雪あかりに
月あかりに
啓子は今日も
子ネコのタマを抱いて寝てゐる
散るこゝろに
春にでもなつたらと
おまえは言うのか

曖昧な生態

秋浜悟史

黄色いうわはらをはだけ
もがきながらも
生きることを知つていた
銃刑執行人。
ねむりはひよわすぎた。
ひよわすぎた
うるさいおろかなこうかつども
がおもいもかけない
とうけゆくあわただしさで
逃亡をくわだて。
蝶ちようのかるいはなうた
恐暴めいたねむり。
記憶忘れぬシイツの蝶ちよう。
拘束の食欲は
よどみないこつかつども。
のんどせりあげ
ひよわげな逃亡に酔いしいれ
がらんどうなおなかかかえて
酔狂に身ずまいただし。
かなしくて
トンネルを突き抜ける
この・
汗の中の
一つぶの
私

汗の行儀

宮手毅

【十八才の誕生日に】
たくさんの笑いが
お湯の中で泳いでいる
しつとり
汗ばんだ
汗腺たちの無智に見える行列
ひんやり
として嘲笑が
何時もの様に
行儀よく
端坐している
雄厳さの
中の
暴君たちの様にも見える

現実と過去

川村洋一

現実は私を見つめて
私は過去に無限の夢を見出した
現実と現実
現実と過去の交錯の中に
放心した私……。

短歌　弟子を憶う

滝川忠夫

◆教え子よ皆はげめよと祈りつゝ、凍てつく帰路に月の影ふむ
◆いかにせむと教え子の身ぞげにあやし、新らしき世の移り変りに
◆今日も又教え子思う吾が窓にきさらぎの夜の月かたむきぬ
◆犯罪の生徒を訪えば障子の穴あわれ、茶をすゝむはひび深きかも
◆犯罪の生徒と雨の場にただずめば、かたき若芽は春を待つらむ

俳句

夕焼くる雲はるばると赤とんぼ　井藤博
すずめ飛び露落しけり稲穂かな
大輪の菊ほのぼのと月夜かな　小原一二
木の影をうつして寒し沼の秋
初秋の雲は動かず岩手山　大山信雄
白々と明けゆく空に汽笛なる
寒々と時計見ている露店商　山本[illegible]

干大根ここから見ゆる南部富士
みちのくや春のしるしの艾餅
くれし日を慕うか月の昇り来る　佐沼俊天

ヒューマニズムと学生の生活態度

アプレゲールというと、とかく悪い意味にだけ取り易い傾向があるようであるが、こゝで私はアプレゲールなる言葉をもつと広い意味において用いたいと思う。そのアプレゲールの全体を占めるといつてもよいデモクラシーの中においては、「個人の人格の尊重」という事が第一の項目にして挙げられているようであるが、その反映として学生の生活態度にも教師の無闇な人格を無視した干渉は避けねばならないという教育方針が立てられるのである。ところが、学生殊に新制高校生の生活態度…校内におけるものも校外のものも……どの程度に自由にしてよいかが問題なのである。殊に最近の高校生の　生活態度は全般的に　所謂アプレゲール派が多いようである。男女共学の問題、校内外の文化体育活動の自由などの陰には必ずといつてよい位に、いまわしい問題の大きい又小さい噂の種があるようである。戦時中の全体主義。軍国主義の反動として自由主義が取られたのであるが、動あれば反動ありで、その軍国主義、全体主義の動が大きかつただけに、現在の自由、民主々義の反動が大きく、しかもその反動はあまりにも大き過ぎて、つまり反動の行きすぎになつているのである。この意味においても最近の学生殊に高校生のあらゆる方面における自由という事は深く再検討を要する問題である。民主々義、自由主義は人類の最上の世界観かも知れない。少くとも現在の一般世論はその事になつているから、人類をそこまで持つて行くためには、特に高校にその基礎知識を興えるためには、無やみな自由を与えずに、軍国主義の束縛を徐々にゆるめねばならない。

（T・T）

書籍文房具　東湖書房　盛岡市大通二丁目　電話　一三三番

大通り　第一書房　書籍・文房具

一般事務用品　一般文房具　紙製品卸　新陽社　佐藤盛　盛岡市十三日町　電話　一三三六番

新刊書籍雑誌　文房具　東山堂支店　材木町

あなたのお姿を最新式の撮影による技術優秀な　松尾写真館　よの字橋際　電話呼一〇〇番

事務用品　文房具紙製品　卸商　三菱鉛筆特約店　株式会社　壽商会　日影門外小路　電話　[illegible]

私はこう思う

五日制・男女共学・不祥事件

校内世論調査

石桜新聞会世論調査部は五日制準備委員会などが設けられて近ごろ問題になりつゝある五日制について又休み中に起つた不祥事件についてそれらの世論調査を行つた。男女共学については附加的ではあるがそれも調査した。結果は次の通りである。（注、調査対象は中3、高1・2・3年約一五〇名）

○五日制　賛成　七一・七%
　不賛成　二八・三%
○男女共学賛成　六四・七%
　不賛成　三五・三%
○不祥事件退校処分三三・三%
　寛大な態度　五三・三%
　その他　一四・四%

でその主な理由を列記すれば五日制の賛成理由は

一、日曜日だけでは一週間の勉強の総括りが出来ない。
二、五日制の他校との土曜日の集会に出席出来ない。
三、汽車、バス通学生が一週間に二日休める様になるので家の人に迷惑をかける日が一日減る。
四、家庭の手伝いが出来る。
五、体育部の者はほとんど毎日おそくまで残らなくてもよくなる又その他の種々の活動が行われて都合がよくなる。
六、日曜日一日中運動していると日曜はつかれて不可ない。

不賛成の理由は

一、五日制を実施している学校において余り良い結果を得ていないようである。
二、長時間授業は飽きるし熱心になれない、運動をすれば何日も遅くなり疲れて仕方がない。
三、教師と生徒の連絡不徹底になり不良学生が増す可能性がある。
四、民主教育が徹底的に行われていないから与えられた時間を有効に使えない。

等である。端的な意見として七日制で午前授業が良いというのも二三あつた。次に男女共学については、賛成

一、男の暴力性がなくなる。
二、校内がきれいになる。
三、競争心が出て勉学が大いに向上する。
四、異性を理解する事に依つて社会に出た場合都合がよい。
五、女の軽卒さが薄れる。
六、文化面の行事において異性が必要な場合がある。
七、男女共学のために変な事件が起つたということを余り聞かないし、服装がよくなつている。
八、我が校は古い封建思想にとらわれている。

不賛成

一、小学校からの共学でなければ実際の異性との交際が不自然になる恐れがある。
二、勉学に真面目さが欠けてくる。
三、内容のない娯楽なが増してくる。
四、異性に遠慮して思う存分の事が出来ない。
五、女はうるさいし、一寸したことで先生に言いつける。

などがある、不賛成の端的な例をあげると女性の侮辱というがもしれないが、邪魔であるとか、悪魔であるとか、そんな事も書いてある。もち論真剣な態度で書かれたものではあるまい。

最後に不祥事件について

寛大処分

一、退校させると社会で悪いことをするから学校で指導すべきである。
三、非常に悪質なものでなければ青春期の危険期にあり一時の出来心であるから更生の見込が大きい。
三、神様でないから間違いを起す

退校処分

一、善良な学生が悪い影響を受ける。
二、不心得な学生のために他から悪くみられる。
三、明朗化のために退校
四、生徒としての資格がない。

等である。なかにはかれらの生徒と交際しているものらしいのが次の様な事を書いている。

彼等は現に我々が話して見て更生している。そして学校に行くのも楽しみにして学校の勉強を気にしている。彼等のこれらの楽しみを控いて退校にすることは彼等を増々悪に走らせる原因となる。

とすこぶる同情的で、その意見が是非とも真であつて欲しいと思う「彼等は人間のくずである」などと書いているのもある位であるから、彼等は余程真剣に考えて今後の行動を慎重に行動してもらいたい。パーセンテージが示すように彼等に対して世論の全部が同情的ではないからである。

不祥事件に就いて

台署長談

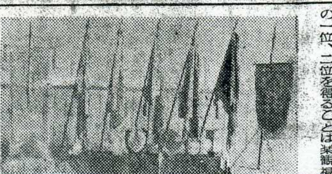
七日盛岡市警察署の台署長にこの不祥事件に対する批判を仰いだ。以下は署長談である

私は事件の内容を良く判つていないが、これは事件の内容によつて犯した者に対処すべきだ。計画的な犯罪だとすればこれは厳重に処罰すべきだが、あるいは悪い友達に誘われて酒でものんで結局前後の関係不明で犯したような事件ならば、これは幾分考慮すべきであると思う。だから結局は事件の内容をもつて学校としても適当な処置を取るべきだ。

また、家庭裁判所事務官那須正作氏は

私は犯罪の内容を知らせることはできない。というのは彼等は更生の道を歩もうとしているとき内容をみんなに知らせることによつて彼等に冷たい眼をむけさせるということは[illegible]辱を卑屈にするばかりである。その犯したものをうんぬんするよりその犯した動機はどこにあつたか、例えばクラスにおいて不良なものがハバをきかしているとか、また学校全体の風紀とかいうことを根本的に探求して今後の対策をとるべきだと思う。また岩高においては彼等に対して相当の罰に処したということを聞いたが審判所では彼等の行為に対して今後絶対に真面目になる事を約束してすぐ帰したのである。だから学校では彼等を処罰する前に一応審判所にきて相談して欲しいと思つていたし学校当局でも来るといつていたので待つていたが、もう処罰したということを聞いて彼等のために惜しく思つている。私達はもつと学校当局は緊密に審判所と連絡をとつてもらいたいと思う。

來年度体育部展望



まず本年度優勝を遂げたラグビー、体操、庭球三部のうちで、来年度優勝確実と見做されるのは体操部だけなようである。

即ち吉川、柵、四戸、中村等名チャンピオンが抜けるが小林、斎藤等には相当期待してよく、彼らの一位、二位を得ることは楽観視できないまでも優勝できるだろうと思われる。問題をするのは庭球部で、国体出場の兼出、猪瀬を始め、正選手が全部いなくなつてしまう。新たに中学の優秀なものが入るとしてもまだまだであり、来年度は不調になるであろう。

興味の中心は本校随一の輝かしい伝統を持つラグビー部である。幸いにして今年度は県下不敗の金字塔を樹立したが、この栄誉を来年度まで持続し得るか！　不安な眼をもつてみるより外ない。久保田キャプテンを始め、池野、島等の名ラガーが十数名ゴッソリ卒業した後、残るT・B佐藤、H・B熊谷の名コンビの好調とF・W高橋、本吉の調子如何、練習如何で好敵高松高、和賀高を降すか、降されるかが決定されると思う。要は今後の練習にある。優勝を目指して練習に励んでもらいたい。

さて、来年度の優勝候補を挙げれば、野球部と籠球部がある。

野球部は本年度尻上りの好成績を収めたがこの上昇の気運は衰えず、寧ろ益々上昇している事を喜ばずにはおれない。唯、名内野手阿部を始め、関根、佐々木（芳）石川等の内野陣が全部抜けるので内野の補充と投手力如何で勝利か惨敗か、何れかが決定しよう。投手陣は上位クラスの盛岡高の田頭や福岡高を下した記録を残しており、円子、清美両投手、また中学校よりの小武方等で決して他校に比して劣らないといえる。外野手は変更なく、望みたいのは内野手の整備だけである。彼等が上達の暁には花巻、福岡、及び盛岡商高校を容易に下すことができると思う。憂色をいうならば盛岡高の橋本投手のカムバックがその唯一であるが、彼がカムバックしたとしても簡単に降されまい。神頼みではあるが、運がよければあるいは甲子園へ出場する事もできるであろう。

次にろう球部はF関井、G山添等の名選手が去るが動ようはまずない。テクニックにおいては今年優勝した盛岡高に比して憂色はなく、チームワークと練習如何では優勝旗を得ることもできよう。精神的にもろいようであるけれど、一致団結、栄光への道を進みゆかれん事を望む。

次に優勝できないにしても上位進出のできるのは、排球、卓球、陸競部であろう。

排球部は五人去るが、バックを盛岡にし、コーチャーを得て練習を積んだならば未完成の大器を有している彼等の進出をある程度期待してよい

卓球部は二名去るが、村上、小沢等えの望みは大きくあるいは、の感も少くはない。

陸競部は相田等四名卒業するが国体出場の滝沢を主動にして松島田村を始め、新たに中学校より来る瀬川、竹田、岩鼬、久慈、森等の逸材の進境で成績展態が決まると思う。

残る水泳、スケート、スキー各部。水泳部は村岡他十名近く居なくなり、上位への期待はあまりできない栃沢、佐藤（召）、藤村等の進歩に合わせて本年度優勝した中学校からの優秀選手が加はれば二、三位を獲得するかも知れない

スケート部は本年度惜しくも盛岡高に敗れ去り、また来年は名久井、阿部、米内、中島等の抜けた後まず優勝はできまい。が、二年後には再び優勝旗を持ち来る事ができ、国体出場が可能であろう。

スキーはほとんどだめのようである。

最後に部ではないが新たに部になるであろう軟式野球クラブとハンドボールクラブに一言して筆を止めたい。

野球クラブは秋に盛岡商を降し地区代表となつたが県下大会で優勝した一関高に一敗地にまみれたけれど、その成績は賞賛してよく是非石桜会の部となり、予算を得た時には相当の成績が得られよう。

ハンドボールクラブは不可知。盛岡唯県下に四チームしかなく、盛岡高に敵対する程度になれば、まあほめるに足りよう。

筆の赴くままに記したが、結局は正規な練習とチームワークにあり、悔のない成績を得られんよう下級生諸君の活躍を望んで展望の幕を閉じる。（祐）

飯岡山と南昌山

小田島孤舟

ひくければわれにしたしも高山を
はなれて立てる飯岡山は
低けれど一つ立てればしたしきに
立ちてをみつれ飯岡山を
低き山南昌山をしたしみし少年の
こころ今にのこれり
北側に尾根を刻めど南を遮るはな
し南昌山の空
切り立てる南昌山の南側入日ささ
えて動く雲のり

予セン会

盛会裡に終る

二月五日八時半より卒業生を送る予餞会が県公会堂で行われた。高二年小林鐵二君の開会の辞に引続き校長先生の祝辞、高二年宮手敏君の送別の辞それに答えて卒業生代表の小野寺由也君の謝辞がありそれが終つて全員起立し生内先生のピアノ伴奏によつて校歌斉唱、それより種々の行事に入つたプログラム次の通り。

○SPEECH
　中学三年　藤村　三郎
　高校二年　栗谷川侃司

○グリークラブ合唱　高校二年　藤原　健三
　主人は冷き土に　小沢　聡指揮
　水天の歌　佐藤　清指揮
　聖なる神　木村精志指揮
　三四の蜂　村松由高指揮

○劇　小山内薫作「人形」　高校の部
　演出　中村　六郎
　装置　田鎖　純
　効果　小田島昭天
　出演　中村六郎、佐藤伸夫、近藤義彦、岡田三男

○劇　武者小路実篤作「だるま」　中学の部
　演出　伊藤　源三
　装置　一戸　彦大
　効果　小田島昭天
　出演　上野雄一、東　宏、大山信雄、原　健

「だるま」をもつて十一時半プログラムが終り小林鐵二君が閉会の辞を述べた。プログラム中感銘を与えたのは卒業生の指揮による「グリークラブの合唱と最高学年が加わらなくても立派にやりとげた二つの劇であつた。感慨ひとしおたのは卒業生ばかりだけではなかつたに違いない。楽しみにつけ悲しみにつけ、上に立つて指揮し、指揮された長い間の年月、それも最早思い出として心のアルバムの一頁に秘められて去つてゆく日が近づいてきているのだ。三月五日え——。

ギョッ！ギョッ！

◇予餞会の当日、準備係の者がうつかり看板をかけることをわすれていた。

◇当日は丁度「おもかげ」を上映する日だつたので、気の早い映画狂の面々は、朝から映画見物にしやれこもうと公会堂に乗り込んで来た。

◇入口の受付け係りに指し出す入場券に係りの者は目をパチパチ

◇父兄の方々もさつぱり来ないから少し景気を付けようと考えた受付け係りの連中は、その人達を全部会場に案内し、これでようやく威勢よく予餞会を進行させることができた。（O）

生徒に自粛の色

唾液検査の結果

市内高校生活指導協議会が発足して以来、その活躍は近来頓に増加した学生犯罪数のグラフの上昇力をセーヴすることに寄与して居る点は大変大きい

本校においても不良化防止と風紀粛正の目的を以て前後二回に渡る唾液調査が行われたが、その結果を協議会に提出して他校の結果に照会したが、喫煙常習生の数は市内高校を通じて最も少い事が判明し、岩手高校の面目一新に役立つた。

第一回検査結果の一般的傾向を見ると高工3、及び中3の学年が最も喫煙経験者が多く喫煙は〃学生犯罪の第一歩〃と言はれて居るだけに学校の将来が危ぶまれて居た。

然し二ヵ月有余を経て行なわれた第二回検査では、学校全体としてプラスの反応を呈するものの数が漸次減少し始めて居る。

それからの注言もなく、いたづら心や友人のさそいのまゝに喫んで居たのが現状なのでこれら検査の結果に生徒間に自制自粛の傾向が現われ始めたものとして喜ばしい事である。

第一回　調査表

学年		1	2	3	合計	率
唾液反応	＋	6	3	18	27	7.1%
	±	31	43	28	102	26.8%
	－	97	81	74	252	66.6%

テアトルとエトランゼ

盛岡白梅校舎の加藤先生を主宰とするテアトル・ド・デマンシエと本校の角掛先生が主宰する劇研エトランゼ。これが市内高校生の演劇研究の場である。テアトルの方はさる二月十四日予選を行つて今度三月四日にQGから「むらさき」を放送するし、エトランゼの方は去年十二月二十五日にクリスマスの日を期して、角掛先生の作「バルタザルの告白」高二佐藤章作の「聖夜のマーガレット」を公会堂で公演した。この両劇団の主要なメムバーとして本校生が沢山いる事はまた頼もしい限りである。

◇文化・体育◇短信

中学卓球部連勝

▼第三回県下中学校卓球大会（二、五日於柏葉高校）
一回戦　不戦勝
二回戦　湯本中 0―3 本校
三回戦　徳田中 1―3
準決勝　花巻中 1―3
決勝　一関中 0―3

▼第二回市内中学校卓球大会（二、十日於下橋中）
一回戦　[illegible]中 0―3 本校
二回戦　附属中 0―3
準決勝　下橋中 1―3
決勝　下小路 0―3

ホッケー惜敗す

冬休み中のホッケー試合の結果は次の通り。

◆県下選手権大会（一月七日）
岩高 2―1 盛岡校

◆市内高校大会兼国体予選（一月八日）
岩高 1―3 盛岡高

◆太田杯大会（一月二十二日）
岩高 3―4 医大

藤村君入賞

市内中学校英語弁論大会が二月十八日白梅校で開かれた。本校から三甲の藤村三郎君が出場し、「マダム・キューリー伝」の中の一節を述べた。彼はアクセント、発音、句切り方、イントネーション等すべて最高点であつたが態度に落ちる所があつたので四位となつた。

交声曲二部作 QGより放送

二月七日午後七時半より八時まで生内義夫先生作曲の交声曲三部作「岩手山」「北上川」「三陸海岸」が同先生の指揮、三浦昭子先生の伴奏で岩手フィルハーモニックソサイティによりローカルタイムに東北六県向けとしてQGから特別放送された。なおこの放送はさる二月五日午後本校講堂にて録音されたもの

第二回美術部発表会

美術部では第二回発表展を二月二日から五日まで松屋ギャラリーで開催、油絵、水彩、デッサン、版画等五十余点を展覧に供した。美術展についての感想を主宰者にきいて見た小笠原先生談＝高島君の進境は目覚しい。三年生もいなくなるのだから高島君はじめ、高工の人達に今年もがん張つてもらう「様期待している。

五日制・男女共学・其の他

市内高校生懇談会

石櫻会・石櫻新聞会共催

出席者
盛岡高校普通部　目時平介　藤井正義　斎藤幸郎
盛岡高校商業部　斎藤昌三　内沢源一　田村芳一郎
盛岡高校女子部　新田洋子　中沢英子　梅里あい　田山智子
岩手女高　山口ツネ子　高橋道子　石河皆子
高松高校　小熊均　高橋博　角田幸四郎
岩手高校　小野寺由也　佐藤祐司　佐藤章　熊谷ヲサム　川村洋一
岩手高校教師　山中先生　角掛先生

樂しきかな学生々活

高校学生懇談会

二月十五日二時半より本校図書室において石櫻会、石桜新聞共催の市内高校学生懇談会を開いた。

招待校は五校で談笑のうちに行われた雑談的なものではあつたがその中から何かをつかみとる事が出来たといえよう。

山中先生　皆さんには忙しい所どうも御苦労さんでした。御存知の様に本校は私学でありますので五日制等は他から指定される事もなく自由で実施していない様な訳ですが今春の四月から中小学校も五日制になり対外的関係もありますので本校では五日制準備委員会を組織し、それで生徒が貴方がたの学校を調査に行つた筈です。五日制その他自由にお話して下さつてどうぞ今日の懇談会を有意義に過され必ず収獲を得られん様望みます

角掛先生　二時からの予定でしたが都合で遅れて終いまして申訳ありません。今日は五日制、風紀、男女共学、アルバイト等どうかザックバランにお話願います

励みのつく共学

"学力低下"憂いなし

男女共学

小熊　うちの男女共学は拙い。同じ教室で七時間やりそれが終つてから女は女の授業をするから暗くなつてしまう。

佐章　そう、まさか男がカッポーでもないでしょうから(笑)

目時　高松は共学していますか[illegible]い点はありませんか、成功していますか。

小熊　まあ失敗ぢやないですね。ただたつた九人のために無だな金を使つたよ。

新田　高松の女の人は喜んでいますから来年という事もありますし無だではないでしょう

新田　女生徒の為に音楽室を作りピアノを設けたが…うるさいなこつちの方で難しい数学をやつていると隣りでは発声法なんてアーアー練習されてはたまりません(笑)

目時　男女共学をやつている人から聞いた事ですが始めのうちは張り切つていたが後になつたら活気がなくなつたとかいつてましたが。

斎昌　矢張一時的で目だろう

角田　いやまだまだ活気がありますよ(笑)

小熊　男女共学をやつているのは一組だけだがそれだけは共学賛成他は反対でしたよ。矢張離れるのはきらいらしいですね(笑)

角田　兎に角共学している組は活気がありますね

小熊　励みがつくらしい

新田　音楽等に活気が出て来たのではないでしょうか。その点はよいと思います

目時　男女共学について問題にされる学力が下るという事は私はそんな事はないと思つています　もち論やり方によつては下るかも知れませんが

小熊　現在の　ままでは　女の方が下る

佐章　学力のレベルが同じになる事が必要だ。

佐祐　女の人から文句が出そうだな(笑)

佐章　今迄女の人を使い過ぎたから今度は大事にしてやりませう

佐祐　然し昔は女が威張つていたんだ。天照大神は女だよ(笑)

熊谷　私は庭球部ですが女の人が相手の人に応援すると非常にガッカリする(笑)

角田　いや実際そうですよ。私達の学校では庭球部なんか暗くなるまで一緒にしてますからね。

佐祐　男女共学について世論調査をやつたら校内がき麗になるというのがありましたが高松はどうですか。

高橋　き麗になりますね、服装もよくなつたし…(笑)

新田　服装がよくなつたという事が目立ちますね

佐章　服装文化の発達ですか

佐祐　女の人に伺いますが矢張不精な男はきらいですか

新田　人によります

過失は寛大に

ただし狼はこの限りに非ず

風紀問題

佐祐　岩高で不祥事件が続出したんですが　君達の　学校でなかつた?

一同　さア

佐章　学校で何か取締りをやつていますか

山口　私達の学校では上級生が当番になつて取締りをしています

佐祐　先生方が昼はパン屋など、また夜はマージャン屋など見て回つています

斎幸　それが大いした効果がないと又やる者が多くなりませんか

川村　そんなのにスリルを感じる年ごろですからね

佐祐　タバコ検査等やりましたか

高橋　やつた。何しろちよつちよつとやればその辺本職だからすぐです(笑)

佐章　服装やタバコの検査は時には人格を傷つける。女学生の人でタバコすふ人がありますか

新田　さア　ないでしょうね

角田　あのタバコ検査は不正確だ

佐祐　体質によるそうですね

佐章　退学処分等どう思いますか

佐祐　寛大な処分が圧倒的だつたな。先ごろの世論調査では。

角田　高松だつたら退学処分は反対ですよ。子羊に例えると迷つた一頭の為に九十九頭の子羊が一頭を探すまで待つか、それとも探し出さずに…

小熊　然し其の一頭が狼である時もある(一同笑)

斎昌　そこが問題だ

佐章　先生の熱心さが関係する

高橋　その実例が去年あつた。新聞にも乗つたはづだが下宿に引きとつて善導したという……

小熊　上正しからざれは下正しからずというが先生にもよるね

佐祐　教師とは物を教える道具なりなんていう先生がいる

斎昌　職業的な考えが多いですね

佐章　ある程度孔子の教も必要だ

学生アルバイト

斎昌　結果的にみて好結果をもたらしている様です

佐裕　女の人のはどんなのですか

中沢　まァ小使みたいなものでしよう(笑)ただ社会の勉強が出来ます

佐章　もらつた金はどういう風に使つているんでしよう?

高橋　学用品が一番次に自分の好きな物を買う位でしよう

斎昌　全般的に補助的にやつてますね

中沢　裕福でもアルバイトなどしてよいでしようか

川村　経済的に必要がないならしない方がいい

自覚が第一

計画性こそ成功の要因

五日制

小熊　この間調査に来たでしょうその結果はどうなんですか

小野寺　結果はまだ出来ていません。石桜会で討議していませんし職員会議もまだしておりませんから。

佐祐　五日制の世論調査等やつたと思いますが結果はどうですか

藤井　生徒は圧倒的に賛成で七〇%位だつたでしよう。女の方は賛成が少なかつたようですが、父兄は半々位だつたと思います

角田　高松では一概にはいえないが調査した結果は賛成が多かつた。

川村　うちでやつた時も七〇%を一寸こしていました。市立高女へ行つた時いたんですがあそこは五日制を突然やつたといつていましたが皆さんの方は世論調査等事前にやつたんですか

山口　しませんでした。

高橋　世論調査はしなかつたが意見は一寸聞いた

新田　そのころにしませんでしたが後で調査を三度程しました

佐章　女の人は家事の手伝をする事になると思いますが

山口　矢張これは心掛一つではないでしょうか。家事の手伝いも出来るし……でも家庭に縛られる事は確かですね

新田　大体良くいつています。帰りが遅くなつて毎日の手伝いは出来ませんがクラブ活動も出来るしハイキング等…やつてみればいいですね

佐祐　休みが多くなつて悪い事が起きたという様な事はありませんでしたが?

小熊　悪いのは普段でも学校を休むし、悪い事もする。でもとに角実際は休みたいね(笑)

佐祐　そうでしようね(笑)

藤井　いやァ、でも二日遊んでいるのも楽ぢやないですよ(笑)

佐祐　おれだつたら一日でへばる

小野寺　五日制になつて貴方がたは何時間授業ですか?

山口　七時間です。夏などは良いですけど冬は少し困りますね

佐祐　午後の授業がダレませんか

小熊　自分達だつたら実習等を午後にするからこんな事はない

川村　是からやつてゆく私達への教訓を一つお話願へませんか。

斎昌　土曜日を如何に過ごすかという点に五日制の問題があると思います

小熊　自分達の学校では土曜日誌を発行してるんだが、見た?

佐祐　うん。あれはいいな、成功しているんでしよう

小熊　役には立つがただ費用がかかるんだ。

佐章　岩女の日誌はどうですか

山口　記録や感想等を書きます

小熊　五日制になつた時自分達に全然計画的でなかつた為土曜日の利用法が無かつたんです。でも岩手高はその点は幸福ですよ斯うして聞いたり調査したりしているんですから。とにかく二日のうちのどちらかは勉強すべきですよ(笑)

目時　休むにしろ、勉強するにしろ、五日制は続けた方がいいですね。土曜日を如何に使うかというのが問題で計画性を持つべきです。

斎幸　私としては二日の休みを徹底的に自分のものにしたいと思つています

小熊　とに角計画をもつてやる事が第一ですね。

佐祐　ではまずこの辺で今日の懇談会を終りたいと思います。予想外に話がはずみまして遅くなつてしまいましたが是から五日制を実施する時は皆さんのお話などを参考として有意義にしたいと思います。皆さんどうも有難とう御座いました。

(司会佐藤祐司)

卒業生よ

どこへ行く?

進学・就職

金詰りや税金攻勢又国際的に不安な状態にある今日この頃、三月に卒業生約一三〇名が大学え、就職えと各々の道に進まうとしているが、大学進学関係は渕沢、阿部両先生から、就職については小林先生と職業安定所の係りから伺いしたことを要約して伝えよう。

先に進学について。

流石に地元の岩大志望は経済的事情もあり圧倒的に多く三クラスで約七〇名程あり、県外三受験する者は正確数ではないが早大、三、四名、立大、法大、中大、日大、一橋、東北大、其の他の各大学え受験する者もある。

渕沢先生の入学予想は勉強していないから入るわけはないといい、折角の講習も逃げてばかりいる、もつと真剣にならなければいけないと辛らつである。阿部先生の岩大入学予想は三割程度であるという。何れにしろ受験生は余程勉強しなければなるまい。

次に小林先生から伺つた事を要約して伝えよう。

盛岡職業安定所のあつ旋する者は大学進学と就職の二つの方法をとつている者を除く、つまり純就職者のみであるという。目下の所学校へ就職あつ旋方を申込みしている者は三〇名ほどあり、その中で就職の決定した者は殖銀の三名、日発の一名、合計四名でここにも暗い世相が多大に影響しているようである。商家農家の者の家事手伝いが四、五名ある。また税務講習所仙台支所へ五、六名の希望者があり東京の講習所には一人ある。講習所への希望者の談によると希望者が相当多数あるらしくこれも狭い門のようである。

安定所のあつ旋先は主に盛岡市内及び岩手、紫波両郡下で、その理由は初任給の三千五百円程度では下宿住いの[illegible]ができるはずがないからである。それで勢い市内近郊で通勤可能の者となるわけである。なお学校を通じての就職あつ旋は五月までそれ以後は一般の取扱いとして処置される。

またこの問題の実際面について十日に盛岡職業安定所の就職課課長にその談を聞いてみた。

今年の就職はむずかしいでしよう。参考までに現在の就職口をいいますと土木技術員四名、一般事務員九名、銀行事務員一三名、官庁事務員五名、商店事務員一名、店員一〇名、土木事務員一名、機械事務員一名、製材事務員一名、土木工所工員五名などです。昨年は就職率も一〇〇%でしたが今年の見通しは良く行つても七〇%悪くすると五〇―六〇%となるかも知れません。どうしてかといえばドッジ氏の勧告によつて水ぶくれにした官公庁に対するいたずらな資本のばらまきを防ぐ為、また質の良い職工、事務員による大量生産を増進する為に行政整理されたその為に国庫予算は減少され之が中小企業にもおよぼし失業が増し結局就職の門はかなりせばめられた訳です。もつとも希望はあります、というのは世間ずれのしない学生諸君には真面目に働くといような点からある程度は期待されるかもしれないからです。何れにせよ社会に立つて真面目に従事するという心掛が大切でありこの点に強調してやみません。

生徒心得起草さる

総務委員会で審議中

軍国主義の名残りとして存続して来た生徒心得。それは新時代のデモクラシーには全く相反したものばかりであるといい得よう。古い生徒心得が存在する事によつて新教育方針に大きなギャップを及ぼして来たのである。だからその新旧の矛盾が益々大きくなつて、特に昭和廿四年に入つてからは、とかく新らしい事だけに目をくれる学生側と、古きをも考え合せる教師側との間に、非常な見解の相異を来たしたのである。それも全く当りまえの事で、軍国主義時代の生徒心得が、終戦後四年も経つて、あらゆる方面で矛盾を感じつゝも、なお一向改正の様子も見えなく今日まで来たのは、全く教育者の時代感覚を疑いたいところである。その事を考えて見ても、遅れ走せながら、新生徒心得が起草されたのは喜ぶべき事である。

学校当局談　今度新らしい生徒心得が起草され、学期末の休日を利用して総務委員会が審議する事になつた。そもそも今の学生生徒の生活態度を見ると、中には真面目な者もいるが、所謂アプレゲール派が多いように見られる。時代は新らしく変つて来つゝあるが、あまりに新らしい思想だけを取り入れると、とかく取返しのつかない方向に走りがちなものである。であるから、これを審議する総務委員は、この古きをたずねて新らしきを知る、という生活態度をも一応参考にしたら良いと思う。

原稿募集

石桜新聞の原稿を左の要領で募集致しますから振つて御応募下さい。

応募資格　本校生徒、PTA諸氏、卒業生

内容　評論。小説。詩。短歌。俳句。随筆。漫画。時事諷刺漫画。映画。演劇。美術。音楽等批評。その他

締切期日　特別に定めない。

提出先　石桜新聞会編集部あて

出版委員会

石櫻新聞会

委員長　佐藤章
副委員長　佐藤祐司　高橋実
顧問　角掛先生　佐藤先生　宮川先生
編集部長　佐藤祐司
佐藤章　横川洋一　川村洋一　佐々木剛　秋浜悟史
業務部長　佐藤章
梅津敏昭　藤原和夫　吉田益人
製作部長　川村洋一
大畑勉　大矢哲夫　大山信雄
取材部長　佐藤祐司
副部長　八重樫昌広　秋浜悟史
文化部　責任者　横川洋一
工藤いく夫　大山信雄　吉田益人
体育部　責任者　一戸彦夫
荒浜順一　高橋実
校内部　責任者　佐々木幹夫
秋浜悟史　田村寿　藤村三郎
校外部　責任者　佐々木剛
田中一誠　岩淵一義　村上晴男
PTA部責任者　梅津敏昭
大畑勉　藤原和夫
自由取材部責任者八重樫昌広
梅沢昭雄　箱崎達明　小田島城二
写真部　責任者　小笠原鐘夫
中村六郎

編集後記

ニュース性に乏しい私、卒業間際の試験も何もあつたものでなく下級生諸君に鞭撻され角掛先生や川村君に教えをいただきとにかく創刊号をまとめ上げてもらい雑誌のように呑気な編集長を極め込んでいられなかつた。忙しさの真中に学校を出て急に平凡な日々に自分を持て余すのではあるまいかと懸念している次第。まずは下級生諸君常に精進されて立派な新聞を作られん事を(佐藤祐司)

題字　校長先生
題字カット　鈴木先生